

「東日本大震災」からまもなく4年。震災・津波被害を決して風化させることなく、多くの教訓を今後の防災・減災、まちづくりに活かします。



2012年5月 女川町
「東北大震災慰霊之碑」前

本年3月11日、東日本大震災から4年目を迎えます。復興庁によれば、2015年1月末現在、避難者の数は約23.6万人、死者・行方不明者は18,483人（行方不明者は2,500人以上）、震災による直接的な被害額は16～25兆円と試算されています。

私たちは、震災の怖さ、防災の大切さ、地域コミュニティの重要性、人との絆など、東日本大震災で学んだ多くの事を教訓とし、今後につなげていかなければなりません。被災地支援を続けるとともに、震災の教訓を今後の防災、まちづくりに活かします。



2011年5月 女川町
「震災がれき置き場」視察



2012年5月 石巻市
「焼却プラント建設現場」視察

福岡県「国民保護共同実動訓練」が開催されました。

2015年は、「地下鉄サリン事件から20年」、「オウム真理教・麻原彰晃容疑者逮捕から20年」という節目の年です。福岡県は、『国民保護法』及び『福岡県国民保護計画』に基づき、本年1月20日（火）に福岡市営地下鉄「橋本駅」を中心に国民保護共同訓練を行いました。

今回の訓練の参加機関は、福岡県、福岡県警、内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚労省、国交省、防衛省・自衛隊、福岡市、福岡市消防局、福岡市交通局、国立病院機構九州医療センターほか、各病院、医師会など43機関、約1,000名が参加しました。

訓練の想定は、「福岡市営地下鉄橋本駅に到着した電車内において、化学剤（サリン）が散布され、多数の死傷者が発生する。その後、犯行グループは、駅に隣接する大型商業施設に対する爆破を予告する」というもので、地下鉄駅における化学剤散布を想定した国民保護共同実動訓練であり、県民・市民の生命を守るための訓練でした。終始、緊迫した訓練となりました。

公務・地域の催しなどに積極的に参加しています。



2/12 県警音楽隊「第50回演奏会」



1/25 「県まごころ商品大規模販売会」

県議会議員として公務はもとより、地域の催し、各団体が主催する集会等に積極的に参加しています。様々なご意見を頂くなど、今後の政策づくりに活かして参ります。



2/22 「日中友好協会新春の集い」



2/20 「県障害労働者ネットワーク総会」



2/15 「中央区ドッチビー大会」